

令和7年3月18日

土木部河川公園課

## 江東区高潮ハザードマップの改定等について

現在、公表している「江東区高潮ハザードマップ」は、令和2年3月に改定したものであるが、東京都において高潮ハザードマップの基となる「高潮浸水想定区域図」が令和6年12月に改定したことを受け、「江東区高潮ハザードマップ」を改定するとともに、そのハザードマップの情報である浸水深等を「ハザードサイン」として公共施設等に設置する。

### 1 江東区高潮ハザードマップ（「参考2」参照）

#### (1) 改定概要

想定する台風規模は改正前と同一条件であるが、荒川の堤防高さや地形の状況等を最新データに反映した結果、区内の浸水深は30～80cm下がるとともに、浸水継続時間についても概ね減少した。

#### (2) 変更点

- ① 浸水した場合に想定される水深区分の変更  
(0.5m～1.0mを追加)
- ② 凡例の「主な公共施設」を3つに分類  
(主な公共施設、自主避難施設、拠点避難所)
- ③ 広域避難を促す文言を追加
- ④ 区ホームページにアクセスするQRコードの追加

#### (3) 今後のスケジュール（予定）

令和7年3月 ホームページにて公表  
4月 区報・SNS等にて周知  
5月 全戸配布

## 2 ハザードサイン

### (1) 設置目的

水害ハザードマップに示された浸水深等を公共施設等に標示することで、発災時に命を守るための避難行動を促すとともに、水害への危機意識の醸成を目指す。

### (2) 設置場所

浸水の可能性がある公共施設 92箇所

(小中学校 56箇所、出張所等 36箇所)

### (3) 設置イメージ (例「江東区文化センター」)

